

回轉式水切器 モニタ一調査結果報告

市民生活部市民課

環境衛生係

(平成29年10月)

I 調査の目的

生ごみの水切りを徹底することにより、可燃ごみ排出量の減少が期待できることから、回転式水切器を用いてモニタリングを実施し、生ごみ減量化の効果を検証する。

II 調査方法

1) 調査対象者

平川市在住で生ごみ減量化モニター募集に申込みをした方。

2) モニター機器及び募集定員

回転式水切器

募集定員 100名

3) 調査方法

毎戸チラシによりモニターを募集し、モニター機器を配付、3ヶ月使用後に調査票及び記録表についての報告を受ける。配付したモニター機器は回収しない。

4) 調査期間・応募者及び回答者

平成29年7月15日（土）から平成29年10月15日（日）まで

応募者 20名

回答者 11名（55%）

5) 調査内容

調査期間内において、回転式水切器を使用し、水切りの徹底を行うことによる生ごみの減量化の効果について検証するため、水切り前後の重量の記録並びにアンケート調査を実施する。

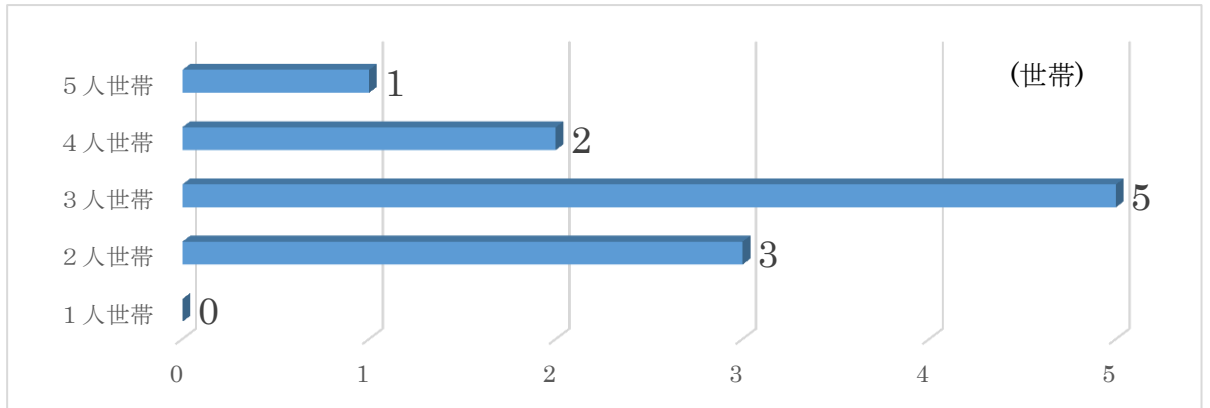
6) 申込・提出先

平川市役所 市民生活部 市民課 環境衛生係

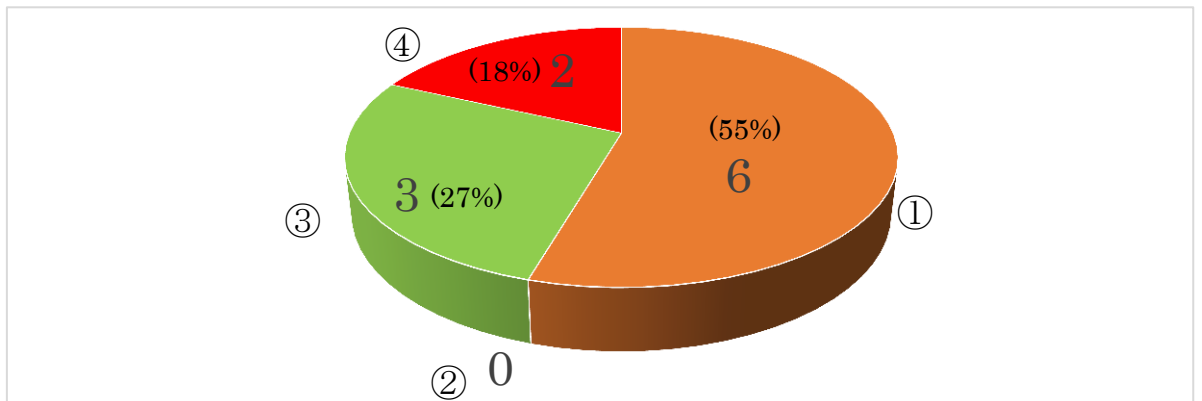
7) 提出期限

平成29年10月23日（月）

【1】 家族構成についてお知らせ下さい。



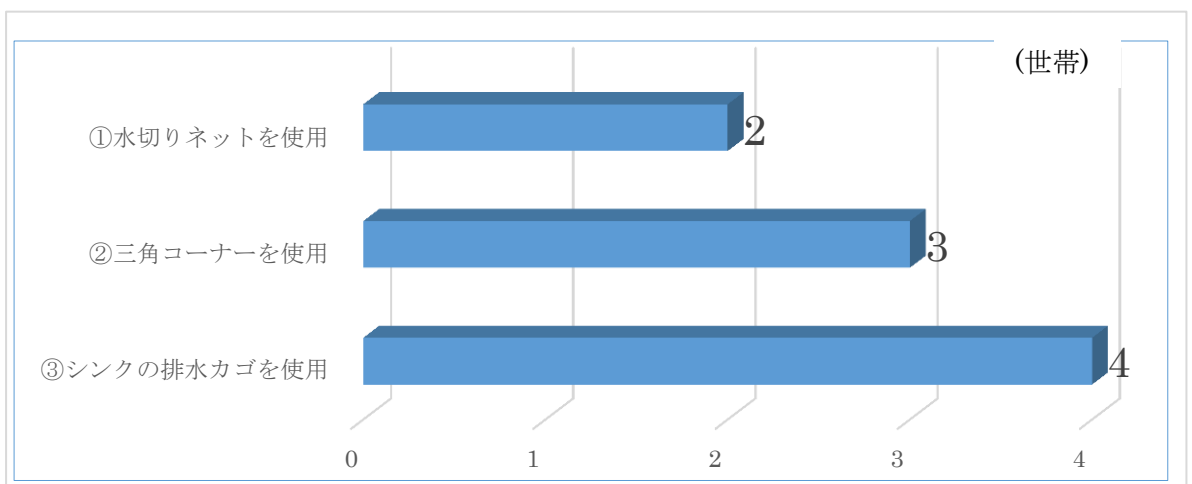
【2】 以前から生ごみの水切りをしていましたか？



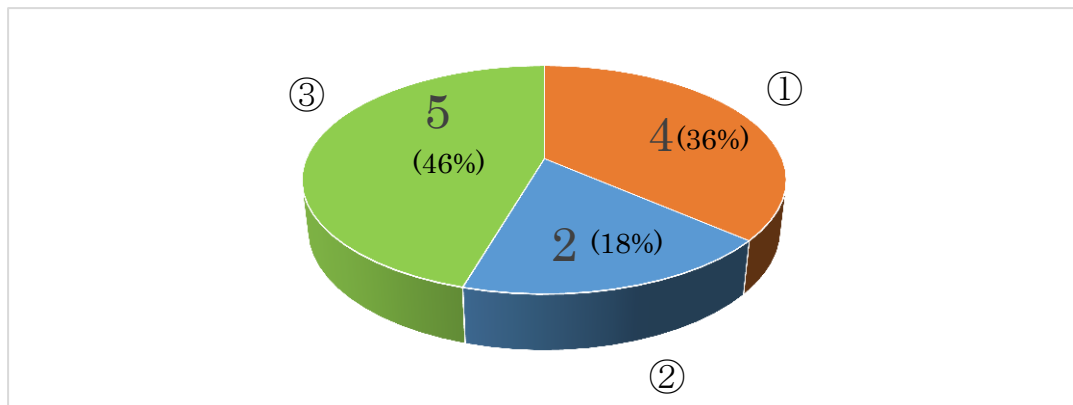
- ① ① いつも行っていた … 6名 (55%)
 - ② ② 時々行っていた … 0名 (0%)
 - ③ ③ ほとんど行っていなかった … 3名 (27%)
 - ④ ④ まったく行っていなかった … 2名 (18%)
- 計 11名

【3】 以前行っていた水切りの方法はどのようなものですか。

(【2】で①あるいは②と回答した方)



【4】回転式水切器の使いやすさはどうでしたか。



- ① ■ 使いやすい … 4名 (36%)
 - ② ■ 使いにくい … 2名 (18%)
 - ③ ■ どちらとも言えない … 5名 (46%)
- 計 11名

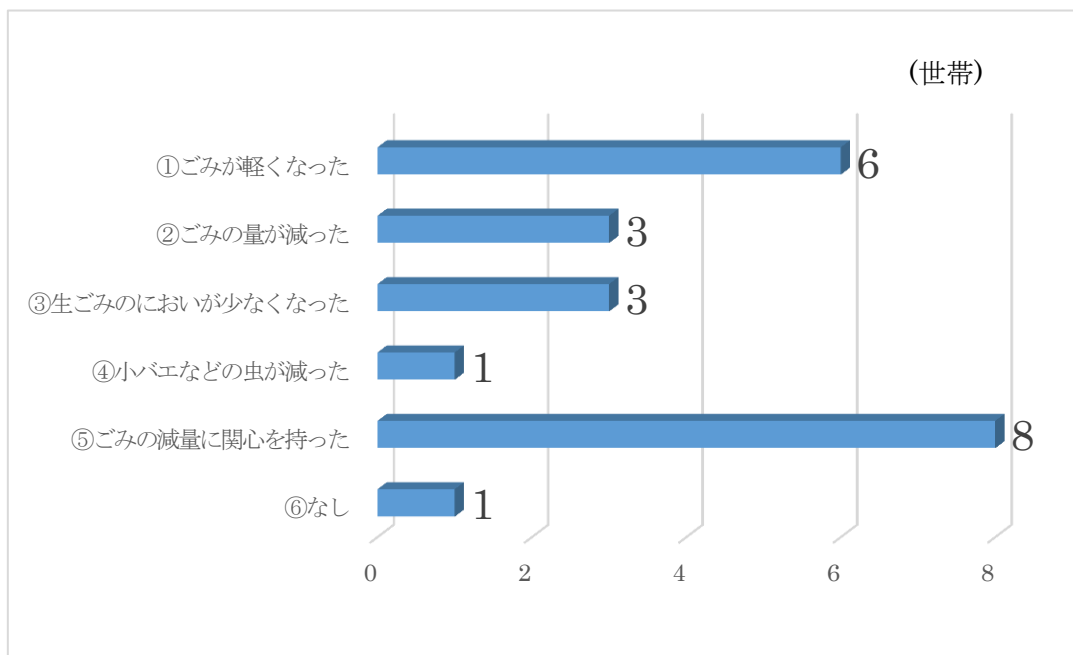
【5】使いにくかった点はこういったところですか。

(【4】で②と回答した方)

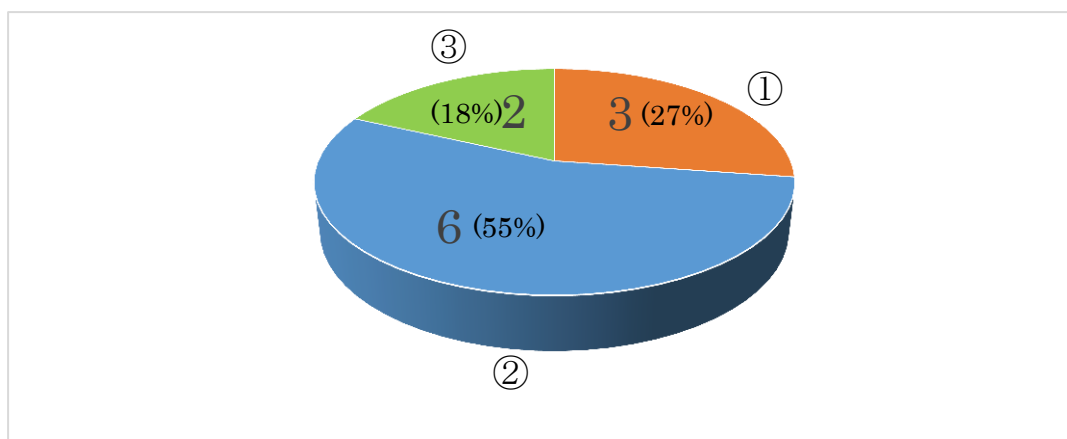
- ・手で絞って水を切った方が良かったと感じた。使用後に器具を毎回洗うのが大変だった。
- ・うまく回らない。取り外した際、下の回転台が外れて取付けにくい。

【6】水切りをして良かった点はどういうところですか？

(複数回答可)



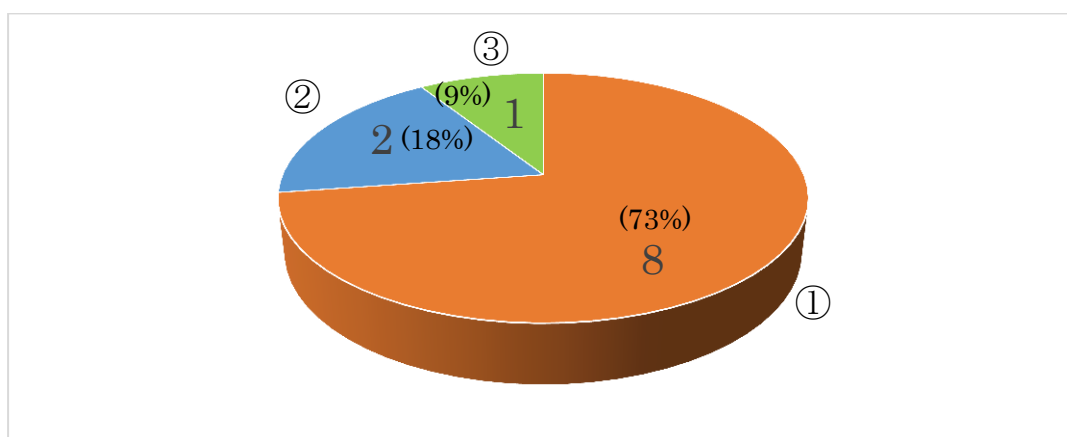
【7】水切りによる生ごみの減量効果についてどう思いますか。



- ① ■ かなりある… 3名 (27%)
- ② ■ 少しある … 6名 (55%)
- ③ ■ 変わらない … 2名 (18%)

計 11名

【8】今後も水切りを継続しますか。



- ① ■ 継続する … 8名 (73%)
- ② ■ 継続しない … 2名 (18%)
- ③ ■ どちらとも言えない … 1名 (9%)

計 11名

★①継続する理由

- ・可燃ごみとして出す時に、他のごみが濡れないで良い。

★②継続しない理由

- ・別な方法で水切りを行う。
- ・シンクの排水カゴを使う。角型でも水切器があれば良い。

★③どちらとも言えない理由

- ・三角コーナーとあまり変わらない。

【9】その他、意見や感想等がございましたら記入して下さい。

- ・同じ種類の生ごみでも、水切り時の条件が違っていると数値に差が出た。
- ・回転式水切器が小さく、ごみが多い時は大変。
- ・細かいごみが溝に挟まるため、ネットは必要。手で絞ることもあった。
- ・シンクの排水口の形状と合わないため、うまく回転せず、十分な効果がなかった。
- ・水を切る作業が面倒だった。回すのに少し力も必要だった。モニター期間3ヶ月は長かった。毎日排水口を洗ったのでぬめりがなくきれいだった。

//////////////////////////////////////////**まとめ**//////////////////////////////////////////

希望者の世帯構成は、2～3人の小規模世帯が多い。

メリットとしては、水切器モニター記録集計結果では、1日一世帯あたりの減少量が27gで、3人世帯だとすると、ひとり当たり1日9gの減少になる。

デメリットとしては、今回モニタリングした水切器とシンクの排水口の形状が合わない場合があることや、回すのに手間がかかることが挙げられる。

水切器の効果は高いという回答も多く、水切りは今後も継続して続けたいとの回答が多く、水切り自体の定着・浸透が進めば、可燃ごみの減量化には効果的と推測される。

水切器の仕様・規格や手間という問題を踏まえ、水切りを継続させるため、今後も水切器に関する情報収集や水切りの徹底についてPRを進めていくことが重要と考える。